

**Citation:** Ahangari Z, Nasser M, Mahdian M, Fedorowicz Z, Marchesan MA. Interventions for the management of external root resorption. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2010, Issue 6. Art. No.: CD008003. DOI: 10.1002/14651858.CD008003.pub2

**CRG名:** Oral Health Group

### [最新版\(英語版\)はこちら](#)

**英語版最終改訂年月:** April 7, 2010

**Clib issue No.;** N/U: 2010 issue 6; Updated

**背景:** 歯根の外部吸収は、感染、外圧、外傷、歯列矯正治療といった、さまざまな機械的、化学的刺激に続いて生じやすい病的プロセスである。歯根の外部吸収は、一般にレントゲン診査や、ときおり疼痛、腫脹、歯の動揺といった臨床症状により、検出される。治療の選択肢は、症例によりけりであるが、原因の除去と吸収により生じた傷害の再生を目的としている。

**目的:** 永久歯の歯根の外部吸収への介入の効果を評価すること。

**検索戦略:** 2010年4月における以下の資料を検索した。The Cochrane Oral Health Group's Trials Register、The Cochrane Central Register of Controlled Trials (CENTRAL) (The Cochrane Library 2010, Issue 3)、MEDLINE (via OVID) (1950年から2010年4月まで)、EMBASE (via OVID) (1980年から2010年4月まで)。2つの地域書誌データベース (IndMEDとIranmedex) を検索し、5つのイラン歯科雑誌については本レビューに適した用語を目安に、手検索した。

**選択基準:** 臨床的レントゲン診査から確認された、あらゆる種類の歯根の外部吸収について、歯内療法、固定、抜歯、周囲組織の切除、プラセボ、非介入を比較したランダム化比較試験。

**データ収集と分析:** 2人のレビュアーが、別々に研究を抽出した。コクラン・コラボレーションの統計的指針に従った。

**主な結果:** 歯根の外部吸収についての研究は66本あったが、本レビューの基準に合致する研究は、なかった。われわれは、実施中の研究の1つは、本レビューに関連するかもしれないことを突き止め、その結果が公表され次第、評価する予定である。

**レビューアの結論:** われわれは、歯根の外部吸収への介入の効果に関するランダム化比較試験の報告を見つけることができなかった。歯根の外部吸収における高品質なエビデンスがないことは、臨床家は、患者への配慮と自身の臨床経験を考慮した上で、最も適切な方法を選択すべきであることを、示している。歯根吸収についてのさらなる研究は、コンソート宣言 ([www.consort-statement.org/](http://www.consort-statement.org/)) に従う強固な臨床試験であるべきであろう。

(翻訳 南出 保・監訳 豊島 義博; JCOHR)

翻訳公開日: 2012年2月7日

**ご注意:** この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。